

東桜谷おしゃべり会

2022 移動サービス勉強会in京都

令和4年11月11日(金)

於：京都テルサ 東館2階 視聴覚研修室

「おたすけカゴヤ」の取り組み

～互助による移動支援の創出と町全体の
公共交通活性化で住み続けたい町を目指す～



東桜谷おしゃべり会

麻原 喜代次

日野町社会福祉協議会

橋元 成子

日野町公共交通政策推進室

山添 史郎



1. 滋賀県日野町と地域の公共交通

滋賀県日野町の概要①

- ▶ 町の東部には鈴鹿山脈があり、町のシンボルの綿向山がそびえる
- ▶ 鉄道など公共交通は不便
- ▶ 一方で、車があれば、比較的便利な地域でもある
- ▶ 農村と旧の市街地（町場）が多い一方で、新興住宅地もあり、アパートもある
- ▶ 近所同士のつながり、支え合いは、まだまだ残っている



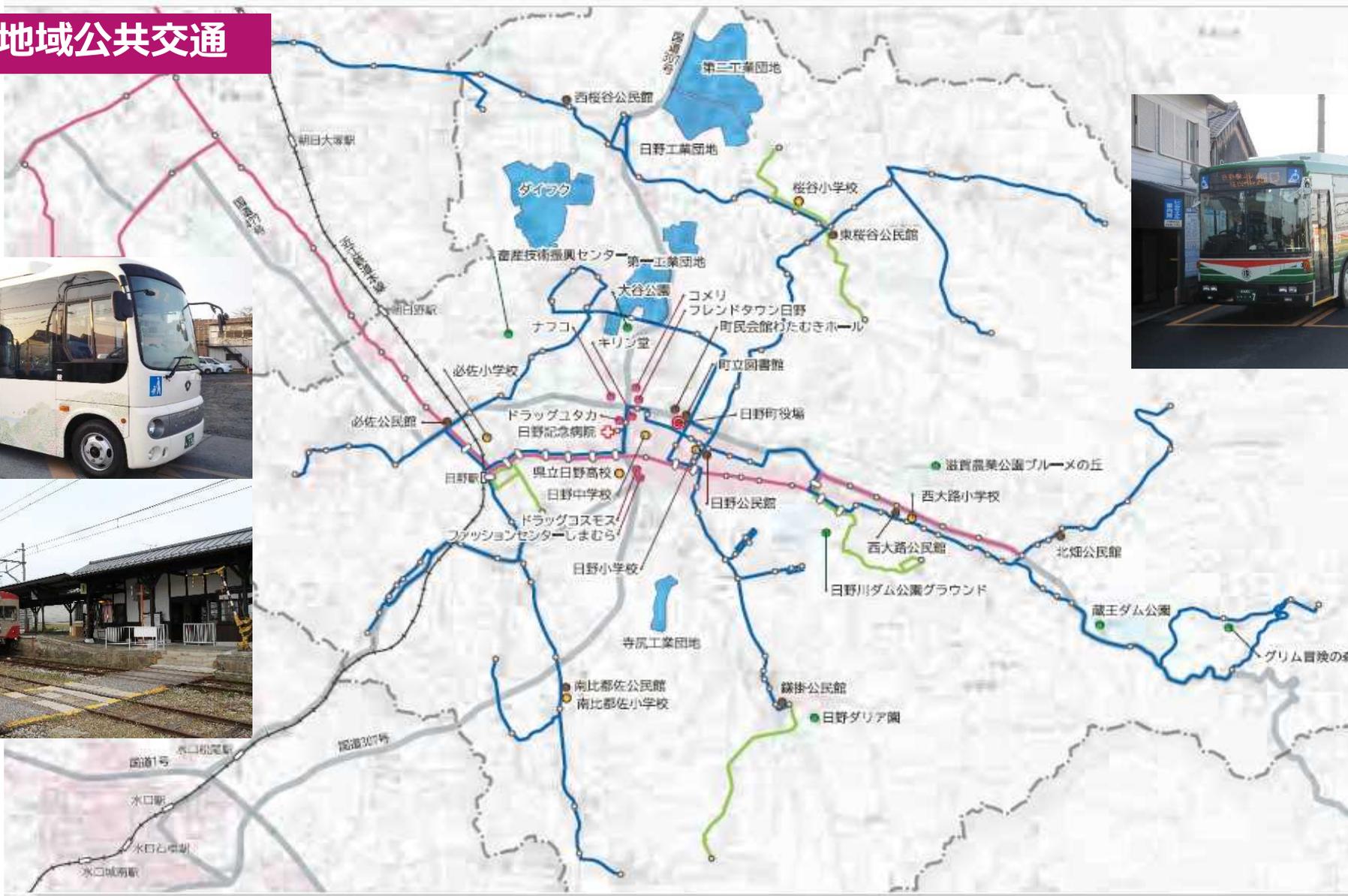
町の花
ホンシヤクナゲ

滋賀県日野町の概要②

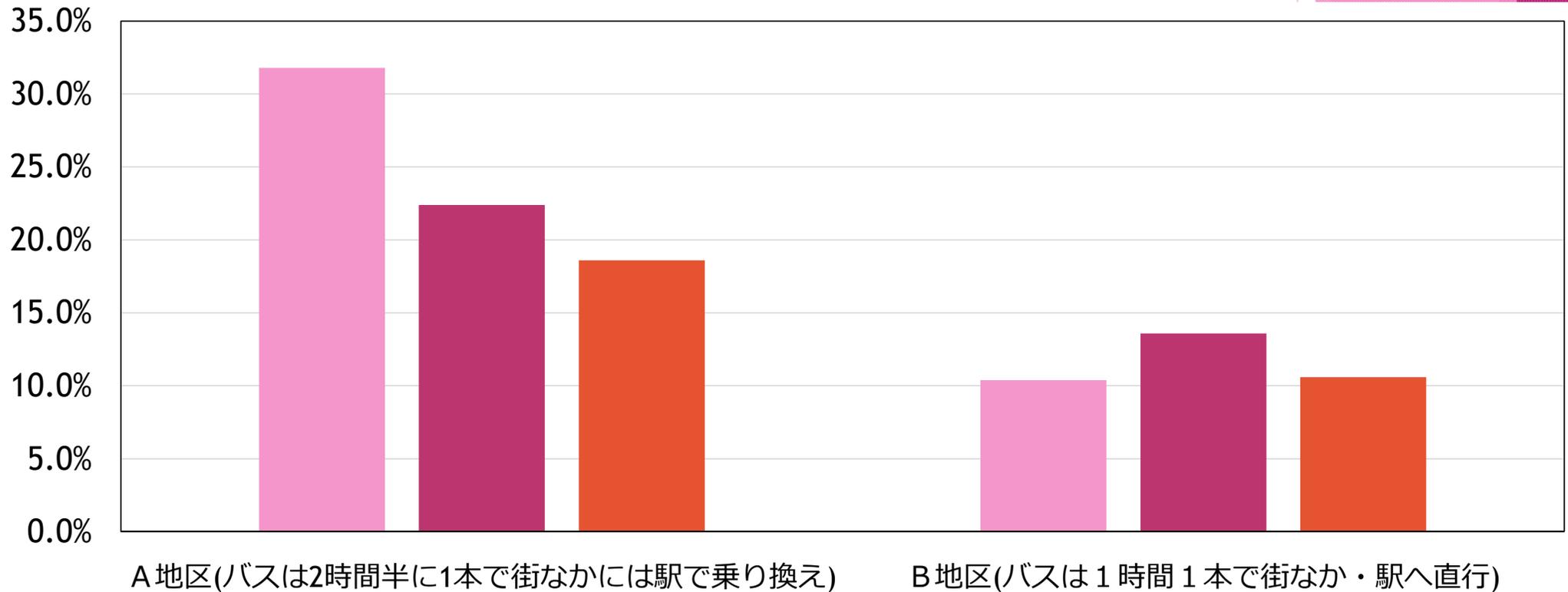
- ▶ 戦国時代には、蒲生氏郷（松阪市、会津若松市の礎を築く）を輩出
- ▶ 江戸時代には、近江日野商人を多数輩出
- ▶ 毎年5月3日には、馬見岡綿向神社で日野祭を開催
- ▶ 人口 21,031人（令和4年10月1日現在）
- ▶ 高齢者数 6,540人（令和4年10月1日現在）
（うち後期高齢者人口は、3,429人）
- ▶ ・高齢化率 31.10%（令和4年10月1日現在）
※農村部と旧の市街地で高齢化率が高い



日野町の地域公共交通



自由に移動できる地域 = 暮らしやすく健康な地域？



- 居住地や目的地に適したバス停・駅や公共交通のルートがない
- 外出は、週1回以下
- 転倒について、とても不安である

「わたむき自動車プロジェクト」

日野町の地域公共交通活性化にむけて

○公共交通活性化の必要性○

- ・利用者の減少とともに便数の削減 → 本数が少ないから利用しない（できない）という悪循環
- ・一方で交通をめぐる課題は山積
通勤マイカーによる交通渋滞、危険な通勤自転車の国道走行、2キロ以上の徒歩通学、
小学校1年生からの自転車通学、「家族タクシー」（家族による送迎）の負担
- ・日野町が「住んでみたい、住み続けたいまち」となるために・・・
「忘れられていた」公共交通を再び活性化させることが必要

潜在的な公共交通への需要を掘り起こし、それを満たす交通体系を構築していく

「わたむき自動車プロジェクト」

人口流動等実態調査の実施 → 潜在ニーズの把握と実証実験の実施 → 交通インフラ整備のシステム化を目指す

実証実験

工業団地への通勤バス運行、まちなかバスの小型化・本数倍増（運転手養成のしくみ構築）、小学校スクールバス充実、オンデマンド交通の導入（高齢者等の移動手段確保だけでなく、日野駅や公民館事業への送迎、保育所送迎、飲食店送迎も）

目指す姿

若い人も高齢者も親子連れも来訪者も・・・

だれもが利用しやすい公共交通を、みんなが利用しているまち、日野町

公共交通で安全に通勤・通学できるまち、公共交通でどこへも気軽に出かけられるまち、公共交通で来訪・観光できるまち、いつでも公共交通で安心して帰宅できるまち、交通ターミナルの日野駅を交流・にぎわい拠点とするまち

“誰もが移動できる” “行きたいところに行ける” 日野町を目指して



2. 東桜谷地区とおしゃべり会

東桜谷地区の概要

- ▶ 日野町の北東部に位置する農村地域
- ▶ 町営路線バスは走っているものの本数は、少なくダイヤも不便。バス停までも距離がある
- ▶ 人口 1, 369人 (令和4年10月1日現在)
- ▶ 高齢者数 626人 (令和4年10月1日現在)
(うち後期高齢者人口は、357人)
- ▶ 高齢化率 45.7% (令和4年10月1日現在)



「東桜谷おしゃべり会」の概要

- ▶ 令和元年5月8日に設立
- ▶ 目的…住み慣れた地域における支え合い活動等を推進することにより、いつまでも生き生きと暮らし続けることができる東桜谷地区を創ること
- ▶ 会員…18名（令和4年10月1日現在）
※このほかに移動支援に協力いただける運転ボランティアさん（19名）と食事会に協力いただけるボランティアさん（6名）あり（会員18名との重複あり）
- ▶ 活動内容…移動支援「おたすけカゴヤ」
食事会「おしゃべり食堂」
地域づくりや支え合いについての話し合い
「おしゃべり会」

「東桜谷おしゃべり会」立ち上げの経緯

- ▶ 平成29年5月…町社会福祉協議会から「地域づくり・まちづくり」モデル事業の相談を受ける
 - ▶ 『まずは、みんなで勉強しよう！』
- ⇒東桜谷地区社会福祉協議会と東桜谷地区人権啓発推進協議会
が中心となって、講演会・研修会
を企画・実施



- ▶ 平成29年6月15日… 「ふれ愛・ささえ愛・つなぎ愛」
研修会（さわやか福祉財団インストラクター:村田美穂子先生）



- ▶ 平成29年9月4日… 「米原市大野木長寿村まちづくり会社」
視察研修



「おしゃべり会」の開催

- ▶ 平成29年11月16日…講演会・研修会の参加者から、**特に地域の課題を感じ、意欲を持った有志が集まり、**みんなで話し合う場として第1回「おしゃべり会」を開催
- ▶ 「おしゃべり会」は、おおむね月に1回開催
- ▶ 「おしゃべり会」の基本ルール
 - ・ 東桜谷地域全体のことを話し合いましょう
 - ・ 地域の宝物に気づき、共有しましょう
 - ・ 困りごとを抱えている誰かの声をキャッチし、何ができるのかを考えましょう
 - ・ 新しく何かを始めるときは、みんなで応援しましょう

「おしゃべり会」の話し合い

- ▶ 「おしゃべり会」の有志のメンバーから様々な声！
- ▶ 移動支援、見守り、近所での支え合い、声かけ、子ども、防災、サロン、食事会などなど
- ▶ 話し合いは、行ったり来たり
(2歩進んで、1歩下がる?)
- ▶ その中から、「移動支援」「食事会」の2つの活動に取り組みたいという意欲が高まってきた
- ▶ 以降、「移動支援」「食事会」を中心に何度も話し合い

その後、さらに
何度も話し合いを重ねて・・・

**「東桜谷おしゃべり会」 設立総会
令和元年5月8日**



3. 「おたすけカゴヤ」の取り組み

東桜谷移動支援事業「おたすけカゴヤ」の概要

- ▶ 送迎の範囲…東桜谷地区から原則日野町内まで
- ▶ 料金…片道300円（乗降前後の介助・付き添い費）
- ▶ 使用する車…運転ボランティア自身の自家用車を利用
- ▶ 送迎の目的…役場、医療機関、商業施設、金融機関、日野駅
など
- ▶ 送迎の日時…原則月曜日～金曜日、
概ね午前8時00分～午後5時00分
- ▶ 対象者…高齢者等

東桜谷移動支援事業「おたすけカゴヤ」 立ち上げの経緯

- ▶ 平成30年6月9日… 「ふれ愛・ささえ愛・つなぎ愛」
研修会（関西STS連絡会：柿久保先生）
◎ 移送支援サービスについて



- ▶ 平成30年7月19日… 「あいとうふくしモール」視察研修（ほんなら堂の移動支援事業などを研修）
- ▶ 平成30年9月6日… 「たすけあい高島」視察研修（朽木外出サポート隊の取り組みを研修）

平成30年7月19日
「あいとうふくしモール」視察研修



平成30年9月6日
「たすけあい高島」視察研修



「移動支援分科会」での話し合い

- ▶ 東桜谷地区は高齢者が多く、買い物や通院に不便を感じている方がおられる。それらのことから「おしゃべり会」の中で「移動支援」の話が出てきた
⇒おしゃべり会の中に「移動支援分科会」を新たに設置し、話し合いを継続
- ▶ 以降月に1回のペースで、「移動支援分科会」を開催し、話し合いを実施



立ち上げにあたっての課題等について話し合い

- ▶ 事故にあったらどうしよう？
⇒ 運転講習を実施し、安全の技術・意識を高めよう
 - ▶ 事故の時の保険はどうか？
⇒ 自賠責・任意保険しかない＋社会福祉協議会の保険にも加入する
 - ▶ 車はどうする？ ⇒ まずは、乗り慣れた自家用車を使おう
 - ▶ 誰を送迎する？
⇒ ヘルパーによる介助が必要な人までは送迎できない。玄関までは自分自身で出てこられる人を送迎しよう（無理はしない）
 - ▶ どこまで送迎する？
⇒ 町内？町外？まずは、町内にしておこう（対応できる場合は、町外も対応しよう）
- ◎ **課題を1つずつ検討し、不安を解消！ 勇気ある一歩を踏み出そう！**

「おたすけカゴヤ」の立ち上げ

- ▶ 令和元年5月15日…鳥居平での運転ボランティア勉強会
- ▶ 令和元年5月19日…運転ボランティア講習
(関西STS連絡会：柿久保先生)
- ▶ 令和元年6月12日…運転ボランティア講習 (鳥居平会議所)

令和元年5月19日
運転ボランティア講習



令和元年6月12日
運転ボランティア講習





東桜谷おしゃべり会

「ちょいとそこまで行きたいわ。」

「ちょいとそこまで送り返しましょう。」

東桜谷おしゃべり会が提供する
住民ボランティアによる移動支援事業です。



送迎の範囲

日野町内

(通院・買い物・銀行・郵便局・役場等の各種手続き等)

送迎の日時

原則月曜日～金曜日(土日祝日は要相談)

概ね午前8時～午後5時

※1週間前までに予約をお願いします

送迎の金額

行き300円 帰り300円

※待ち時間や寄り道が生じた場合は、
1時間につき300円を加算させていただきます

送迎の方法

ボランティアの自家用車での送迎

その他

万が一、事故等が起こった場合はボランティア等の
加入する保険の範囲内での対応となります



不明な点は 地区の にお問い合わせください。



東桜谷おしゃべり会

**運転ボランティア
大募集!!**

求む!
ドライバー

【ちょいのりおたすけカゴヤ】は、
東桜谷おしゃべり会が提供する
住民ボランティアによる移動支援事業です。
運転ボランティアを募集中です。



送迎の範囲

日野町内

(通院・買い物・銀行・郵便局・役場等の各種手続き等)

送迎の日時

原則月曜日～金曜日(土日祝日は要相談)

概ね午前8時～午後5時

※1週間前までに予約をお願いします

送迎の金額

行き300円 帰り300円

※待ち時間や寄り道が生じた場合は、
1時間につき300円を加算させていただきます

送迎の方法

ボランティアの自家用車での送迎

その他

万が一、事故等が起こった場合は

- ①ボランティアご自身の車両保険
(任意保険は、対人・対物無制限、搭乗者保険に要加入)
- ②東桜谷おしゃべり会で加入する福祉サービス総合補償、
送迎サービス補償での対応となります



不明な点は東桜谷おしゃべり会の にお問い合わせください。

「おたすけカゴヤ」出発式

- ▶ 令和元年7月4日…鳥居平会議所で出発式を開催



新聞などでも報道

「おたすけカゴヤ」出発式 片道300円で気兼ねなく利用

東桜谷おしゃべり会移動支援事業「おたすけカゴヤ」出発式が四日、鳥居平会議所で行われた。

東桜谷地区では、平成十九年五月に町社会福祉協議会の「地域づくり・まちづくり」モデル事業としての指定を受け、地区社会福祉協議会や地区人権啓発推進協議会を中心に先進地を視察したり、講演会を開催するなどしてより良い地域づくりの方策を考えた。このほど住民自らの手で地域における支え合いを進めていくため、移動支援や食事会など、それぞれに課題意識を持った任意のメンバーが集まり、令和元年五

月八日、「東桜谷おしゃべり会」(代表・外山章氏)を立ち上げた。

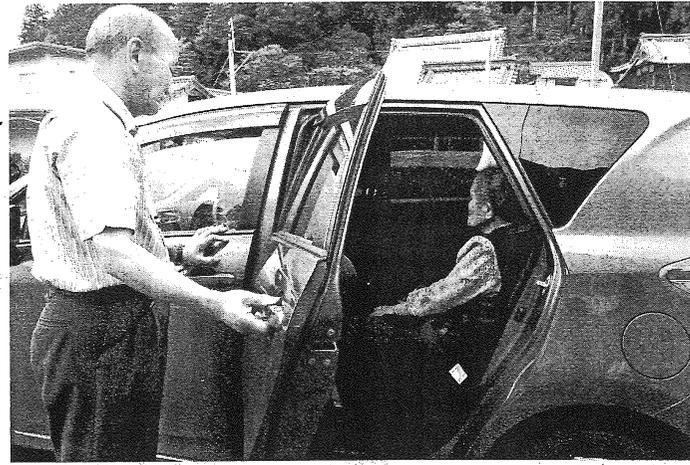
「ふれ愛・ささえ愛・つながり愛」をモットーに「愛」のある地域づくりを進めるため、「おたすけカゴヤ」という新たな一歩を踏み出した。

これは東桜谷地区各地域単位で行い、ボランティア運転手を募り、各地域の登録利用者(独居者・同居でも昼間は独りの人・運転免許返納者など)の移動を助けるもの。

麻原喜代次氏(おしゃべり会移動支援分科会代表)は「待っている人の期待に添いたい。また東桜谷地区

全体の取り組みとして、この地に住み続けて良かったと思ってもつるようなものにしたい。」と話した。

「てほしいけど頼みにくい」などという気兼ねなしに頼めるので、遠慮なく頼んでほしいという。【小川】



ボランティア運転手の車に乗る利用者

待っている人の期待に添いたい。
この地に住み続けて良かったと思ってもらえるようなものになりたい。

東桜谷地区 おたすけカゴヤ出発 地区の高齢者を送迎

東桜谷地域では元号が変わった早々の5月8日に「東桜谷おしゃべり会」(外山 章代表)を立ち上げた。

これは地域住民自らの手で地域における支え合いを進めていくために立ちあげられたもので、その活動の一環として地域の高齢者の医療機関への通院や商業施設への買い

物、金融機関、日野駅などへの送迎を行う住民ボランティア(運転ボランティア)を立ち上げ、今月4日、午前10時より鳥居平会議所前にて出発式を行った。

この運転ボランティアの運行は原則同じ字に住む顔なじみの高齢者を送迎するもので平日の概ね

朝8時から夕方5時頃まで日野町内の病院や駅などへ送迎する。

利用者は乗り降りの際の付き添い介助費として片道250円とガソリン代として50円の計300円、往復なら600円支払う仕組みとなっていて町からは運行実績に応じ補助金が支払われボランティア送迎に伴う保険に加入される。

↑ 新日野新聞 (令和元年7月5日)

ヒノメイト (令和元年7月6日) →

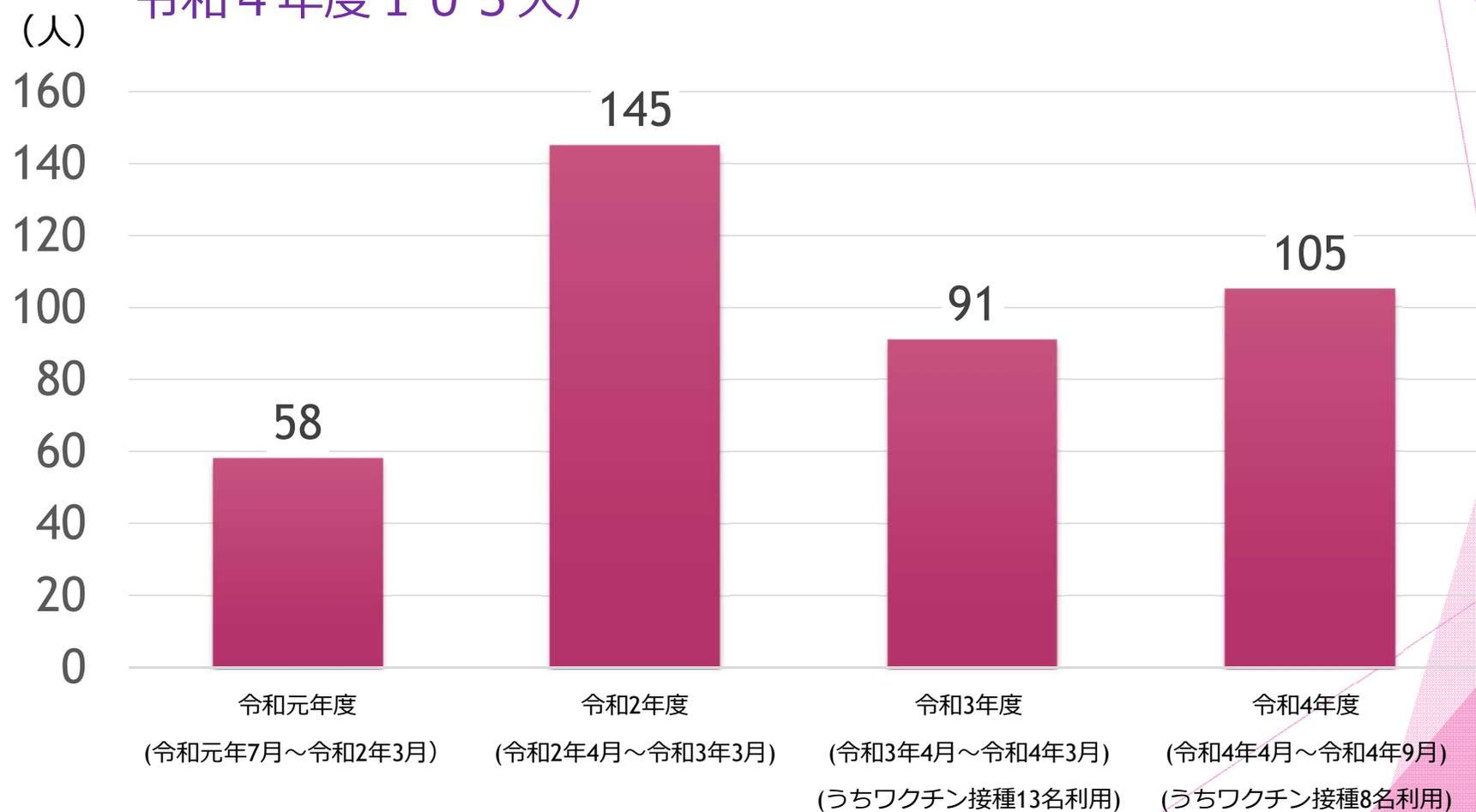
運転ボランティア・利用登録者の状況 (東桜谷地区)

- ▶ 運転ボランティア講習修了者・・・22名
- ▶ 運転ボランティア登録者・・・19名
- ▶ 利用登録者・・・30名



東桜谷移動支援事業「おたすけカゴヤ」の利用状況

(令和元年度58人、令和2年度145人、令和3年度91人、令和4年度105人)



日野町内の別地区でも活動が開始！

- ▶ 日野地区の小井口YK倶楽部からも、取り組みたいという声！
- ▶ おしゃべり会：麻原が講師になって、地域で座談会を開催
(おしゃべり会：麻原＋社協職員＋町の職員で参加)
- ▶ その後、小井口YK倶楽部と社協、町でルールを検討
- ▶ おしゃべり会：麻原が講師となって、令和2年2月に運転講習を開催



小井口YK倶楽部「おたすけカゴヤ」をスタート

- ▶ 令和2年4月3日に出発式を開催し、「おたすけカゴヤ」をスタート
- ▶ 運転ボランティア17名、利用登録者8名
- ▶ 利用者は、月あたり5～10名



- ▶ その他の地域からも、検討をはじめたいという声！

町内の商店から、とても嬉しい申し出！ 「おたすけカゴヤ」への支援がスタート！

- ▶ 町内のケーキ屋さんから、ありがたい支援の申し出！
- ▶ 令和2年12月から利用者、運転ボランティアに対し、5パーセント割引を開始！
- ▶ 支援の輪の広がりにも期待！



おたすけカゴヤの利用者さん・運転ボランティアさん限定

うれしいお知らせ！！

洋菓子の店

不二屋さんからのご提案

このような申し出をいただきました。

- おたすけカゴヤの利用者さん・運転ボランティアさんがご来店時に購入いただいた額の5%を割引していただけます。(割引の上限1,000円)
例えば…1,000円の買物をすると→50円割引
20,000円の買物をすると→1,000円割引
30,000円の買物をすると→1,000円割引
- 運転ボランティアさんは、おたすけカゴヤご利用時以外でも割引していただけます。

※ご利用時は運転ボランティア券了証、おたすけカゴヤのプレートまたはこのチラシをご提示ください。

洋菓子の店 不二屋

住所：日野町松尾2-134
TEL：0748-52-2234

An illustration of a smartphone displaying the 'おたすけカゴヤ' app and a group of people, likely representing the app's users and the community.

取り組んで見えてきた課題・今後の課題①

- ▶ 買い物は、1週間前の予約は難しい
- ▶ 病院の場合、待ち時間が読みにくい
- ▶ 万が一、事故にあった場合の個人の任意保険の保険料の上昇をどうしよう？

⇒町の補助制度の拡充で
運転ボランティアの心配を緩和



新型コロナウイルスワクチン
接種会場へも移動支援を実施

取り組んで見えてきた課題・今後の課題②

- ▶ 運転ボランティアのいない集落など、東桜谷地区全体に、また、日野町内にどのように広げるか？
⇒まずは、困っておられる方を送迎！
共感した地域の皆さんが運転ボランティアに！
※さらなるボランティアの広がりには、補助制度の充実も必要
- ▶ 介護認定を受けておられる方をどこまで支援できるか？
⇒ケアマネジャー・包括支援センターと相談しながら、できる範囲で支援
(どこまで支援できるか？は悩みどころ)



4. 移動支援への補助制度の内容

移動支援への補助制度の内容

▶ 日野町移動支援事業補助金（訪問型サービスD+町単独事業）

◎おしゃべり会の話し合いの中で、「移動支援が必要かどうかが大切」「要支援者かどうかで、分け隔てできない」という協議結果になったことから、要支援者以外の送迎に対しても補助を実施

事業概要	補助金額
移動支援に係る付添い支援等（乗車前または乗車後の屋内外における移動の付添い・介助等）の実施に要する人件費、報償費、消耗品費、通信費、保険料その他町長が必要と認める経費	(1)要支援者等 利用者1人につき1日当たり150円 (2)要支援者等以外の高齢者等 利用者1人につき1日当たり130円
移動支援に要する自家用自動車の任意保険料	従事者1人につき1日当たり200円

続けるパワーは
みんなの

おおきに!

お互いさん
やでな~

ひがしさくらだに

東桜谷

滋賀県 日野町

東桜谷地区

おじべり会

滋賀県蒲生郡日野町の人口約1,500人の地区で令和元年発足。18名の会員と、会員以外の運転ボランティアさんや、食堂運営のボランティアさんと活動をしています。